



2018
後期

72

WAMT bulletin



● CONTENT

- ・ 和歌山県医療従事功労者賞受賞 大久保 雅吏技師
- ・ 保健衛生医事功労者に対する和歌山県知事感謝状 瀧口 良重技師
- ・ 和臨技コミュニケーション事業
- ・ WLCDE今後の予定
- ・ 認知症対応力向上講習会B
- ・ ピンクリボン紀南2018
- ・ 第19回医療セミナーinわかやま
- ・ 全国「検査と健康展」和歌山会場
- ・ 多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会
- ・ 世界エイズデーイン2018和歌山
- ・ 和臨技災害フォーラム2018
- ・ ボランティア活動ができる技師の育成講習会
- ・ 臨床検査精度管理調査合同報告会（伝達講習会等含む）
- ・ 第39回和歌山県医学検査学会
- ・ 意見交換会
- ・ 日技連和歌山県支部から 連盟だよ！
- ・ 編集後記

2019.4.19
☆和臨技☆
現在の会員数
371名
メーリングリスト
登録者
281名

今回はもりもりたくさん
ですっ！！

みかんねえちゃん:みかこ



祝

平成30年度 和歌山県医療従事功労者賞
大久保 雅吏 技師（紀南病院）
受賞 おめでとうございます！



和歌山県医療従事功労者賞を受賞して 紀南病院 中央臨床検査部 大久保 雅吏 技師

この度、和歌山県臨床検査技師会より御推薦をいただき、平成31年2月12日に歴代県知事の写真が飾られた和歌山県庁正庁の間において仁坂知事より、平成30年度 和歌山県医療従事功労者賞を受賞いたしました。



竹中会長と大久保技師

和歌山県臨床検査技師会の理事を退いて10年以上経っていることに加え、自分では特別功労者賞に相応しい活動をしたと思っていませんでしたので、この様な立派な賞がいただけたことに驚いております。

技師会の活動も、和歌山学会・精度管理事業・一泊研修など、私どもが携わっていた頃に比べ一層充実し活気に満ちていると感じられます。これも、歴代の会長はじめ理事会・会員の努力の結果です。これからも会員皆様の活発な学術活動・自己研鑽に励まれるようお祈りいたします。

なお、今回の受賞は3月に定年退職を迎える私にとって何よりもはなむけになったと喜んでおります。

最後に、和歌山県医療従事功労者賞を受賞できましたのも、式典にご臨席いただきました竹中会長をはじめ和歌山県臨床検査技師会の会員の皆様のご指導の賜物と感謝致しております。本当に有難うございました。



保健衛生医事功労者知事感謝状贈呈

瀧口 良重 技師（和歌山県立医科大学附属病院）
祝 おめでとうございます！

知事感謝状を受賞して 和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部 瀧口 良重 技師

平成30年10月29日ホテルアバローム紀の国において、和歌山県知事から感謝状をいただいて参りました。



瀧口技師

保険衛生に関連する多くの分野の方々が参列されておりました。私は和歌山県臨床検査技師会活動を通じて、臨床検査技師としての専門的知識や技術、和の精神など多くの事を学びました。和歌山県は技師数が少ないかも知れませんが、技師会活動には世代を超え、また施設間を超えて交流できる素晴らしい伝統があります。和臨技会員の皆さんは、どんなときでも歓迎して、友好的に接してくれました。就職したばかりの新人当初から技師会に参加し、自分自身も自然と成長できたと思っております。

理事に仲間入りしたとき、公益事業の医療セミナーについて取り組みする機会を与えていただきました。医療セミナー当日は、参加者の誘導をさりげなく助けてもらったり、各個人へ結果を配布する為に発案、協力してもらったり、嬉しい体験を重ねました。自分一人では無力ですが、多くの方に助けてもらって成し遂げるといった感動を経験することができました。

知事から「県民の方に日頃尽くしてもらってありがとうございます」と言われ、和歌山県臨床検査技師会会員の皆さんの代わりに自分が出席しているという気持ちになりました。未熟な私にご指導いただいた諸先輩方、快く一緒に活動して下さった仲間の皆様、今回準備を進めて下さった理事の方々に、この紙面をお借りして心から感謝を申し上げたいと思います。有り難うございました。

平成30年度 和臨技コミュニケーション事業

ラウンドワンにてボーリング大会 平成30年9月1日(土)

公立那賀病院

臨床検査科 片山 裕大 技師

ラウンドワン和歌山店にて、第3回コミュニケーション事業となるボーリング大会を開催しました。参加者は男性8名、女性4名。年代は20代9名と40代3名。地区は紀北2名、市内3名、紀中1名、紀南北5名、紀南南1名と、幅広い地域から参加していただくことが出来ました。



ボーリングのグループは、施設がばらばらになるようにしました。そのため、始めは緊張している方もいましたが、やはり体を動かすと緊張もほぐれるようで、時間が経過すると次第に歓声が上がようになってきました。女性の方にはハンデをつけ、最後に中身が見えない状態にした景品を1位の方から順番に選んでもらいました。大きさと景品を選ぶ方や、重さで選ぶ方など、皆さんの性格を少しみることができた気がしました。



今年は【実写版 天空の城ラピュタ】として人気を博している「友ヶ島」の散策を企画していましたが、天候に恵まれず、ボーリング大会を開催することになりました。



企画の最後に皆様にアンケートを記入していただきました。次回希望する企画では、「友ヶ島」を希望する声が一番多かったです。期待してくれている方が多かっただけに、今回行くことが出来なかったのがとても残念でした。その他には「バーベキュー」や「イチゴ狩り」、「コップ作り」、「蕎麦打ち」と様々な意見がありました。また、「企画・運営ありがとうございました」や「楽しかったです」といった意見も多くいただきました。



今回の企画では12名の方に参加して頂きました。予定よりも少人数となってしまいましたが、参加者の皆様が楽しそうにプレーしている姿を見ると、「企画してよかった！」と感じました。

コミュニケーション委員会では、施設・年代をこえた和臨技会員間の交流を目的とし、様々なレクリエーションを開催しています。興味を持たれた方は、お気軽にご参加ください。

WLCDEの今後の予定



2019年3月10(日)、第5回WLCDE更新者用講習会が開催されました。昨年度のWLCDE更新率は29%、なんと臨床検査技師は0%でした。会員で資格をお持ちの皆様は、更新時期をご確認されますようお願いいたします！

★2019年 WLCDE受験者用講習会および認定試験
日時：2019年10月20日(日)予定

★第6回 WLCDE更新者用講習会
日時：2020年3月8日(日)予定



2019年度(4月1日から)
WLCDE更新規定が一部変わ
りましたのでホームページ
をご一読ください。



認知症対応力向上講習会B

平成30年10月13日(土) 済生会和歌山病院



私の両親も高齢となった今、認知症というワードが他人ごとではなくなってきました。そんな時にこの研修を受け、厚生労働省が掲げる認知症・高齢者に優しい地域づくりに向けての認知症施策推進総合戦略を知りました。実現できれば患者だけでなく家族にも嬉しいこの計画に、検査技師が出来る認知症検査の方法や関わり方を学ぶことができ、充実した1日でした。
(有田市立病院 松野悦子)



認知症の検査を実際に行ってみて、知り合い同士でも、答える側は思った以上に緊張しました。検査を行う側もリラックスできる環境を作り、答えられなかった時の切り上げるタイミングや切り上げ方が難しいと感じました。
(有田市立病院 大松菜弥)



栗林理事と則藤技師



平成30年度公益事業活動(2018.10.7) 担当理事 田原靖子 ピンクリボン紀南2018

ピンクリボン活動を振り返って



熊野本宮大社大鳥居をピンク色に染めて、乳がん検診の大切さを知っていただく活動。

和臨技共催は昨年10月の開催をもちまして、終了となりました。

当初私は、ただ単に乳がんで命を失くされる方を少しでも少なくしたい、その為に臨床検査技師は啓発運動にて検診を受けるよう勧めることが最大の目的と考えていました。

しかし、毎年会場にお越しの方々から、がんに対する様々な思いを伺い、もう一つ大切な事に気が付きました。



検査結果を待つ人のことを、どこまで自分の事として考えることができるか。

目の前にあるのは、人ではなく検体ですが、漠然と検査結果を出すのではなく、その患者さんの事を念頭において、一つ一つを大切に、思いやりを持って検査を行うこと。これを忘れてはいけないのではないのでしょうか。

検査を受ける側、検査を実施する側、双方が意識を高めることにより、初めて病気に立ち向かうことができるのではないのでしょうか。

今年も10月には、大鳥居のピンクライトアップを見ることができます。

今まで一度も来られてない方も、ぜひ足を運んでいただき、尊い命を考えてみて欲しいと思います。これまで御協力頂きありがとうございました。



握手してもらいました!



清水 健氏
講演会の様子

第19回医療セミナー in わかやま



「あなたの骨は大丈夫？」

～骨粗鬆症とロコモを予防し健康寿命を延ばそう！～

平成30年10月27日(土曜日) 和歌山県JAビルにて



・骨粗鬆症とロコモ予防の栄養と食事について

和歌山県立医科大学附属病院 病態栄養治療部 栄養士長 望月龍馬先生

・ロコモって？いつまでも元気に歩くために

紀南病院 整形外科部長 石元優々先生

今回のテーマは「あなたの骨は大丈夫？」としまして、和歌山県や和歌山市を始め13団体に後援をいただき開催しました。当日は、明け方まで降っていた雨も上がり、開始直前にはほぼ満席となっていました。そして、竹中会長の挨拶で医療セミナーが開始されました。講演は『骨粗鬆症とロコモ予防の栄養と食事について』と『ロコモって何？ -いつまでも元気に歩くために』の2題でロコモティブシンドロームや骨粗鬆症の予防法を管理栄養士と医師から教えて頂きました。今回は食事と運動の重要性を知っていただくことができ、また臨床検査技師会が主催したことで、臨床検査技師をアピールできたと考えます。講演内容については大変わかりやすかったとのご意見が多く、無事に開催することができました。これもお手伝いいただいた会員皆様方のおかげと感謝しています。本当にありがとうございました。

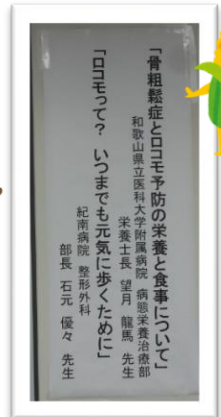
報告：和歌山県立医科大学附属病院 森井眞治 理事



望月先生



石元先生



木下副会長



竹中会長



森井担当理事



スーパー受付嬢



Mr.ナイス司会



全国「検査と健康展」和歌山会場

平成30年10月27日(土) 和歌山JAビルにて開催

報告：恵友病院 脇村 小津江 理事

検査展は、擬似尿や顕微鏡、超音波装置を使って、ほかの健康フェアにはない臨床検査技師だからこそ提供できる体験をしてもらったり、さまざまな検査の展示やパンフレットを見てもらいながら、ゆっくり話を聞いて検査を説明する機会になりました。技師も皆さんも満足度が上がったと思います。物忘れ相談プログラムも30人の方が体験されました。臨床検査専門医の相談コーナーは10件の相談がありました。アンケートでは「知らなかったことが勉強できて来てよかった。来年もきます。」「もっと臨床検査の講演をしたり広く広報したらどうですか」といっていただきました。

JAビルは駅前がいい場所ですが、土曜の午前は人通りも少なく、会場が二階だったこともあり、声かけで気軽に立ち寄れる場にはならず、来場者が思ったより少なかったのが残念でした。来年は、広報や内容など工夫して、若い方たちにも来てもらい、検査と健康について深く学べる検査展をめざします。臨床検査が皆様の健康に深くかかわっていけますように、今後とも公益事業に、ご協力をよろしくお願いいたします。

リビング和歌山には、折込チラシとともに記事でも広報されました。わかやま新報にも、健診の啓発と臨床検査の普及の趣旨から、載せてもらえました。多くの方の目に触れたと思います。



そうなんです!!



色々な検査があるんやなあ



認知症を調べる検査ですよ

これはなに?



超音波検査体験



認知症検査体験



尿検査体験



認知症検査体験



乳がん触診体験



顕微鏡体験



臨床犬さん



顕微鏡体験



医師相談コーナー



超音波検査体験

多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会

平成30年11月10日（土）
平成30年11月11日（日）
場所：済生会和歌山病院
7階講堂・多目的ホール

20名が参加しました！！



久保理事



河原先生



木村先生



稲垣先生



奈良岡先生

大盛況に終了しました！！
次年度もまた開催する予定です。
今回参加できなかった方は、
次回はぜひ！！

・臨床検査技師が他職種業務を知る意義①②

日臨技代表理事 宮島 喜文先生
済生会和歌山病院 臨床検査科

久保 光史理事

・看護職から観た患者心理と家族とのコミュニケーション

済生会和歌山病院 看護部 河原 歩先生

・知っておくべき薬理

済生会和歌山病院 薬剤部 木村 真先生

・知っておくべきベッドサイド機器管理

和歌山県立医科大学附属病院

臨床工学技士 稲垣 伸光先生

・知っておくべき患者移送技術

有田市立病院

リハビリテーション室 奈良岡 隆也先生

田辺中央病院 阿部 真実技師

Q.今回、講習会に参加されていかがでしたか？

ベッドサイドでの言葉かけ、患者状態にあった移乗、検査データの見方など、多職種の業務内容、考え方をすることで、患者様により関わりやすくなれると思いました。



よっこらしよつと…(患者移送技術)



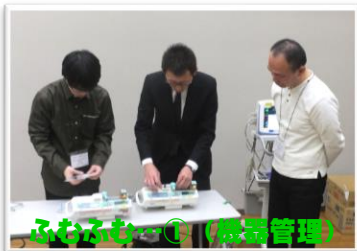
きゅ〜(く) (患者移送技術)



会長、介護されています…① (患者移送技術)



会長、介護されています…② (患者移送技術)



ふむふむ…① (機器管理)



ふむふむ…② (機器管理)



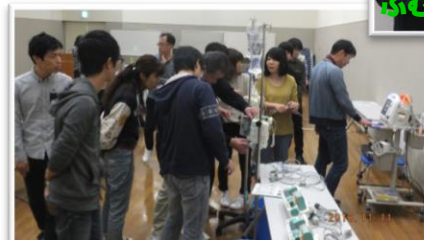
患者心理とキャッチボール



修了証書授与！！



伝えるのってむずかしい！ (コミュニケーション)



どうなってるん〜??(機器管理)



みんなで肩もみ〜！！(患者心理と肩もみ)

今年度も恒例事業となりましたHIV/AIDS啓発活動およびHIV即日検査の報告をいたします。和歌山県との共催で和歌山大学学園祭「和太祭」の会場にて啓発活動を2009年よりはじめ今年で10回目の開催となりました。

今回は、近年著しい増加傾向をたどっている梅毒にスポットを当て、より現実的に和歌山県下の最新の感染状況の報告を行いました。もちろん梅毒の即日検査も行いました。10名ほどの少数精鋭の実務委員が採血業務や即日検査、ポスター掲示による啓発活動をそれぞれ担当しました。

即日検査は例年よりやや少なめの23名の参加者ではありましたが、啓発活動は、クイズや催し物を含めたスタンブラリーと一緒に約180名の方々が参加されました。

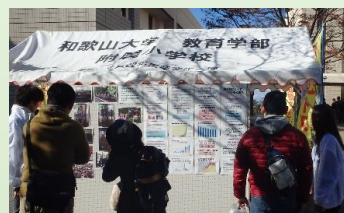
幅広い年齢層の参加者に戸惑いながらも現状を理解していただき検査の必要性・重要性を訴えました。中には海外から参加者もありカタコトの英語力を発揮し国際的な一場面もありました。



朝早くからの設営準備、夕方までの長時間忙しく頑張ってくださいました実務委員の方々のご協力に深く感謝いたします。



余談ではありますが、今回の和太祭のゲストとして霜降り明星が来ていましたが、当日は「うるさいだけの漫才師やな」と思いながら遠巻きに拝見しておりましたが、翌日にはM1チャンピオンとなり超有名人に！びっくりしました。



和臨技災害フォーラム2018 平成30年12月8日(土) 済生会和歌山病院 講堂

「災害時に臨床検査以外に臨床検査技師ができること」

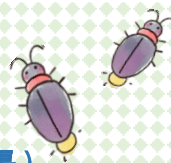
講師 星田 龍也 先生 (済生会和歌山病院)

「被災者避難所DVT(下肢深部静脈血栓症)検診活動に参加して」

講師 大前 嘉良 技師 (紀南病院)

「熊本地震 ～家庭、職場、そして技師会～」

講師 増永 純夫 先生 (熊本県臨床検査技師会前会長)



委員長 藤谷 泰明
副委員長 久保 光史

せまりくる大規模災害 臨床検査技師の役割

和臨技災害対策委員会 委員長 藤谷 泰明

和歌山県下に多くの被害をもたらした平成30年7月豪雨・台風21号において、災害対策委員会は各施設と会員の被災状況の調査を実施しました。毎年、災害時連絡網模擬テストを実施していたため比較的スムーズに調査ができました。幸い大きな被害はありませんでしたが、いくつかの施設では停電や浸水によるトラブルの報告がありました。

全国各地で起こっている震災に加え、今後は異常気象による災害も増えてくると予想されます。いつどのような災害が発生しても対応できるように日頃から各施設の防災力を高めてほしいと願います。



星田 龍也 看護師



大前 嘉良 技師



増永 純夫 先生



今回の災害フォーラムは、「せまりくる大規模災害 臨床検査技師の役割」を表題とし、熊本地震で診療救護班として活躍された済生会和歌山病院の星田龍也看護師、被災者避難所DVT(深部静脈血栓症)検診で活躍されDMAT隊員でもある紀南病院の大前嘉良技師、そして実際に地震を経験された熊本県臨床検査技師会前会長の増永純夫先生をお招きして、災害の基礎から始まり、クロノロジーの重要性、静脈血栓塞栓症の基礎からDVT検診の必要性、熊本地震の体験談や技師会活動で苦労された話などを講演して頂きました。また、総合討論においては多くの質問があり出席者の災害医療への関心の高さが伺えました。



今回のフォーラムで一人でも多くの方が臨床検査技師として災害医療の現場で力になりたいと思っただけであれば幸いです。



目的

震災関連死の原因として肺血栓塞栓症（Pulmonary thromboembolism：PTE）がクローズアップされている。

最近では熊本地震においても下肢静脈エコースクリーニング検査とD-ダイマー検査が行われ、重要な役割を果たした。また深部静脈血栓症の予防のため弾性ストッキングの有用性が報告されている。

災害医療現場では医療機関で日常的に実施している検査や診断と異なり、検査の知識や技術が必要となる。また災害時における和歌山県臨床検査技師会の対策が重要であり、災害時被災者避難所DVT（下肢深部静脈血栓症）検診活動を実施するためには
1.活動目的の明確性 2.スタッフと機材、物資確保 3.現地での活動内容の把握 4.災害現場での組織的な検査体制 5.組織としての対応と対策 6.下肢静脈エコー検査を実施可能なエキスパートの把握等が必要である。

そこで今回 災害医療現場で実施される、下肢静脈エコー検査、D-ダイマー検査、弾性ストッキングの取り扱いについての研修会を開催し、災害時被災者避難所DVT検診活動が行える知識と技術を備えた人材を育成するため企画した。（講習会資料より抜粋）



田中副会長と藤谷災害対策委員長

下肢静脈エコー！



お～そういうことですね！
だんだん撮れる気がしてきたぞ！！



大前 嘉良 技師



久保 光史 技師

弾性ストッキング！



弾性ストッキング
取り扱いも
教わりました



Dダイマー測定！

昨日、足洗っついてよかった～汗





第39回和歌山県医学検査学会関連行事

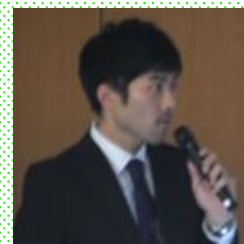
和歌山県JAビル 2階 和ホール AB



✓伝達講習会

「平成30年度院内感染対策講習会」報告

日本赤十字社 和歌山医療センター 川野 友彰 技師



川野 友彰 技師

✓平成30年度和歌山県臨床検査技師会

臨床検査精度管理調査合同報告会 参加者78名



各分野ごとに分析結果及び問題点などについて報告を行い、最終質疑はディスカッション形式で行なわれました。

✓日臨技精度管理結果サポート事業 参加者76名

血液、病理、一般、微生物、輸血、臨床化学、免疫、生理機能の8分野に分かれ、日臨技精度管理結果でC・D評価を受けた各設問や症例について解説を受けました。



血液分野



病理分野



一般分野



微生物分野



生理機能分野



輸血分野



免疫分野



臨床化学分野



参加者からの質問も受け、ルーチン業務内での疑問点などについてもグループ内で意見交換がかわされていきました。





平成30年度 臨床検査精度管理調査合同報告会 担当のみなさんに質問してみました！



血液検査担当



- ①小山 明日美 技師
- ②紀南病院
- ③きれいな涙滴赤血球の標本を探すのに一苦労しました。
- ④フォトでは、それぞれの形態異常の特徴をおさえるとともに、それがどういう病態で出現するのか、他の検査データはどうなるのか、というところを意識してもらえると嬉しいです。
- ⑤血液部門の勉強会にぜひご参加を！ いっしょに勉強しましょう！

病理検査担当



- ①阪田 幸範 技師
- ②日赤和歌山医療センター
- ③染色標本の評価を客観的にするのが大変でした。
- ④たまには教科書などを見返して、自施設の標本と見比べるのもいいかも。
- ⑤病理は施設も少ないですが、その分協力して仲良く発展しましょう。これからも御協力をお願いします。

一般検査担当



- ①南方 博至 技師
- ②和歌山県立医科大学付属病院
- ③手作り試料のため、発送前日の調整と施設分の分注作業が大変だった。
- ④フォトサーベの設問①の赤血球形態が正解率低かったのですが、赤血球形態は非常に大事なので正解率100%を目指したいです。
- ⑤次年度も同じく定性・定量・フォトサーベを実施します。昨年度より良い結果を目指したいと思います。

微生物検査担当



- ①寺嶋 優 技師
- ②国保日高総合病院
- ③評価基準
- ④髄液や羊水でグラム陽性菌が観察された時はListeriaの可能性も考慮し、総合的に判断してください。
- ⑤今期の臨床微生物学会においても精度管理についての講演があり、精度管理には人材育成も含まれているという話がありました。細菌検査の現場ではあえて、細かな部分を臨床に伝えなかったり、頭の片隅にはある考えを伝えようか悩むこともあると思います。和臨技精度管理においては、その考えを是非、攻めの姿勢で答えていただき、実際に現場で遭遇した時に活用できる、そんな機会になればと思い出題しています。

免疫血清検査担当



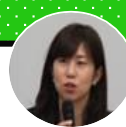
- ①前原 純 技師
- ②橋本市民病院
- ③毎年、サーベ項目の選定には悩みます。各施設への資料配布～測定結果回収までは、いつもドキドキと緊張します。良い結果が出ますようにと願う数日間を過ごします。
- ④しっかりと手引書を読んで、記入もれのないようにして下さい。すべて入力した後は、他のスタッフと必ずダブルチェックするように！
- ⑤日々の精度管理はとても大事です。私たちの測定データによって、患者さんの治療、命に関わるということを改めてもう一度心に刻んで下さい。今後ともみなさんにとって意味のある精度管理事業を行っていきたく思っていますので、ご協力よろしくお願い致します。

臨床化学検査担当



- ①小笠原 志朗 技師
- ②公立那賀病院
- ③昨年度は電話によるヒアリング調査が25件と増え、19件が未入力だったので、今年度は未入力のセルを「水色」とし、結果入力したセルは「白色」になるように設定しました。未入力は5件と減少しましたが、入力間違いが23件の計28件とヒアリング調査が増加してしまいました。次年度は減少することを期待します。
- ④結果入力後のダブルチェックをお願いいたします。
- ⑤次年度は生化学測定試料1・2共に「ヒト濃縮プール血清」にする予定であり、ウェット法とドライ法との反応性の差が解消されることを期待します。

生検検査担当



- ①石倉 美月 技師
- ②日赤和歌山医療センター
- ③問題を考える際に出題できるレベルの症例を探すのが大変でした。テキスト等で診断基準など調べて自分ではいける！と思って上司に確認すると全然使えない症例であったり・・・
- ④前年度、今年度と続き、次年度も心筋梗塞を課題にしようと思っています。梗塞部位まで正しく理解できなくともST上昇など心電図変化を見落とさないようにできればと思います。
- ⑤若手技師ですが、貴重な機会を頂いていると思いますので、しっかり学びたいと思います。よろしくお願いします。

輸血検査担当



- ①川野 友彰 技師
- ②日赤和歌山医療センター
- ③今回は例年と違って検体配布がなく、各施設の担当者には多少混乱を招いたと思います。
- ④輸血検査でミスをする和不適合輸血がされてしまいます。特に血液型の判定ミスは患者さんの命にかかわりますので、絶対にミスはなくて下さい。
- ⑤輸血の勉強会は新人さんの当直トレーニングに最適だと思いますので、声かけよろしく御願います。

質問

- ①名前
- ②施設名
- ③苦労した点・大変だったこと
- ④ここだけはおさえてね(ポイント)
- ⑤最後にひとこと

平成30年度精度管理事業 精度管理委員長 久保 光史



- ①苦労した点、大変だった点
ボランティア採血見直しに伴う、血球試料を用いた精度管理(血球計数、輸血)の中止及び次期精度管理事業への血球試料の確保・調整。
- ②今後の抱負を踏まえて最後に一言
今後の和臨技精度管理事業としましては、精度管理調査願い(是正報告)の更なる充実・各分野の精度管理評価基準の設定・新規精度管理システムの導入について検討の予定です。

最後に精度管理事業にご参加頂いた会員各位ならびに精度管理担当者・班長・学術部の皆様に御礼申し上げます。



39th WAKAYAMAKEN
IGAKUKENSAGAKKAI
(2019.02.17)

和歌山県JAビルにて開催





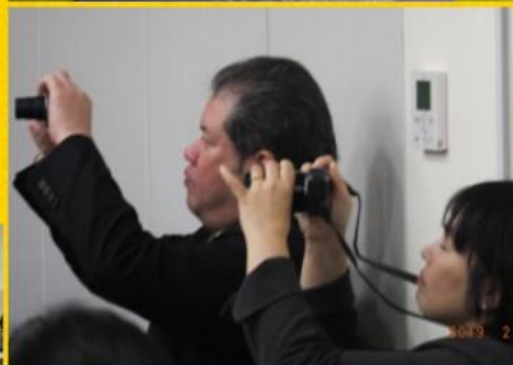
「第39回和歌山県医学検査学会を終えて」 和歌山県立医科大学附属病院

大石 博晃

先日の第39回和歌山県医学検査学会にご参加いただいた多くの会員、賛助会員の方々、ご講演いただいた先生方のお陰を持ちまして、盛況のうちに閉会することができました。ここに深く感謝と御礼を申し上げます。また、私といたしましても学会長という大変貴重な経験をさせていただきましたこと重ねて御礼申し上げます。近年の和歌山学会は、参加される皆様が大変熱心であるように思います。特に将来を担う若い会員の方々は何かを吸収しようとする強い意欲を感じます。若い時に頑張ることは、将来の個々の自信となり知識や経験になると考えますので、さらに研鑽を積んで欲しいと思います。和臨技の「新時代」が楽しみです。和臨技バンザイ！！＼(^o^)／！！



39TH WAGAKKAI STAFFS



来年の和学会は紀中担当です！！

意見交換会

平成31年2月16日(土)18:30より ホテルグランヴィア和歌山7階にて開催
とても楽しい時間を過ごすことができました!!



ちよとびんぼげ's



田中副会長

乾杯!!



チーム レディース①



チーム 連盟



大い(の)しし学会長



ゲッツ!!



たわし、ゲッツ!!

※ピンゴ大会にて



両手に花っ!!



イケメントリオ...



ピンゴ豪華景品



小川しんじさんを迎えて...



堀端実行委員長!!



ピンゴ盛り上げてくれました!!

ごろびかどん?!



抱擁が激しすぎて...

ブレブレ...



チーム レディース②



会長、デレっ...



なんか似てる...



仲良し!!



チーム レディース③

ムク...



美女と野獣!!



チーム 和医大①



チーム 和医大②

日技連和歌山県支部から

連盟だより



小川しんじ候補を応援します!!

(後援会申し込みは脇村まで)



7月の参議院選挙に出馬される小川しんじ候補が、和歌山県医学検査学会前夜の意見交換会に来られました。現在、選挙に向け全国を精力的に周っておられます。小川しんじ候補は「ますます検査が活用されていく流れの中に検査業界が積極的に関わっていくためにも、政治的な力が必要なのです。」と応援を呼びかけられました。

竹中会長と小川候補が、参加者ひとりひとりに挨拶される後を追いかけながら、小川しんじ後援会加入を呼びかけて回らせてもらいました。宮島喜文議員に続く議員として臨床検査業界をあげて応援していきますので、ご協力をお願いします。

まずは、小川しんじさんを知ってもらうことが大切です。後援会リーフレットを配布しますので、家族や知人に後援会にはいってもらうことから始めてください。応援をお願いするもので無料です。18歳以上の全国の方に呼びかけてもらいたいです。そうやって応援の輪を広げていきましょう。

後援会申し込みは脇村が集約します。

和歌山学会では、連盟の加入受付もしました。こちらもよろしくをお願いします。施設でまとめていただいたり、自動引き落とし手続きがお勧めです。

臨床検査の未来のための活動です。

(お問い合わせ 恵友病院 脇村 073-483-1033 kensa@keiyukai.com)

※意見交換会で
小川しんじ候補がごあいさつ



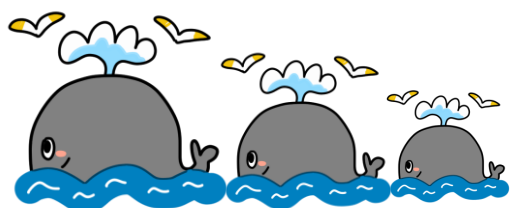
第40回和歌山県医学検査学会 予告!!

2020年2月16日(日)

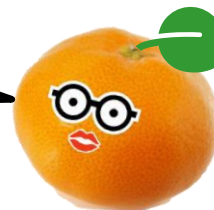
ホテル&リゾート和歌山みなべ(旧南部ロイヤル)

(和歌山県みなべ町山内字大目津泊り348 TEL:0739-72-5500)

学会長 脇村小津江(恵友病院)



みかこ、
実行委員長を
つとめます!!
みんな来てねー!!



みかんねえちゃん:みかこ

開催が決定しました!!

また詳細については次号にてお知らせいたします!!

● 編集後記 (みかこ&かきみ)



みかこ

新年度がはじめてしまいましたねー、かきみちゃん

4月のバタバタもみなさん、少しは落ち着いてるところでしょうか・・・？！



かきみ



みかこ

そうそう、そう言えば今回の会報はかなりボリュームアップになったよねー

そうそう、年度後半の行事は盛りだくさんですもんねー



かきみ



みかこ

その中でも、やっぱり和学会は盛り上がったよねー。
意見交換会ではみかこ、近江牛をゲットしちゃいました～♡

すごーい！！
そうそう、次回の和学会は紀中が担当ですよね。なんと、みかこさん、実行委員長さんですよー！！



かきみ



みかこ

そうなんです・・・初めての経験でどうなることやら・・・。
ちょっと不安です(T_T)

いやいや大丈夫ですよー！！
学会長は前会報担当のWさんじゃないですかー。
そこに国保日高総合病院の有カスタッフが加わって鬼に金棒ですよー



かきみ



みかこ



鬼に金棒す



かきみ

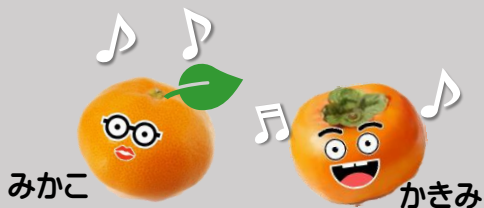


みかこ

そうよねー！！
みかこ、がんばるっ！！
来年の学会の成功も会員みなさんの手にかかっています！！みなさんぜひ参加して、盛り上げてくださいなー！！詳細は次号で！！

一般社団法人和歌山県臨床検査技師会
会報 72号
2018年度 後期(2018.09-2019.03)

発行所 一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会
〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1
和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部内
和歌山県臨床検査技師会 事務局 神藤洋次
電話 073-447-2300
FAX 073-441-0529
URL <http://www.waringi.jp/>
Email warningi@wakayama-med.ac.jp
発行人 竹中 正人
編集 山本 須美子 丸澤 佳子



みかこ

かきみ